

解雇規制や労働時間規制、派遣期間制限の緩和など 労働者保護ルールの改悪に断固反対しよう！



J P労組・U Aゼンセン・自治労から産別を
代表してリレーアピールを実施

ディーセントワーク世界行動デー
を実施!!



元気にこぶしを振り上げアピール

10月11日、高崎・ハローフォーラムにてディーセントワーク世界行動デーを実施し、19産別・12地協・議員懇（後藤・角倉県議、篠田渋川市議）・青年委員会など全体で230名が参加しました。

集会では、伊能副会長のあいさつの後、非正規労働者の雇用・労働の課題をテーマに、産別を代表して3名からアピールしました。

「有期契約社員の働きやすさを求め、正社員と同様に労働条件の改善に取り組んでいきます（J P労組・渡辺さん）」、「パートタイマー、契約社員などの有期契約労働者は、負担や責任の度合いにおいても正社員と同じレベルで従事しています。雇用の安定や賃金、評価制度の適正をはかることで、生きがいや働きがいを感じながら能力を発揮し充実した仕事ができるよう、労働組合のサポートが必要です（U Aゼンセン・星野さん）」、「今年、非正規職員の労働組合を結成しました。今後は所属産別の指導を仰ぎながら、労働条件や職場環境の改善に取り組んでいきます（自治労・浦野さん）」と働く仲間の連帯で、より良い職場環境づくりを目指すことをアピールしました。

最後に富澤副会長より集会アピール案が読み上げられ、全体で採択されました。

その後、「労働法制の改悪は許さない」などのシュプレヒコールをしながら高崎駅周辺でアピールウォークを実施しました。

また、集会の前には産別参加者の協力を得て、高崎駅で1,700個のチラシ入りティッシュを駅利用者配布し、ディーセントワーク世界行動デーのPRを行いました。

◆ディーセントワーク世界行動デーの取り組みについて

国際労働組合総連合（I T U C）は、公正で持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一環として、2008年から、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）世界行動デー（10月7日）における世界一斉行動の実施を呼びかけています。連合は、この呼びかけに応じ、国際産業別労働組合組織（G U F）と連携し、すべての人にディーセント・ワークが保障される社会基盤整備の必要性を訴える活動を全国的に実施し、構成組織と地協の参加を得て取り組んでいます。

最低賃金が改正されました！

2013年10月13日より

群馬県の法定地域別最低賃金は

1時間あたり **707**円です！

707円未満は**法律違反**です！

いますぐ、チェックしましょう！

南三陸復興ボランティアを開催 支援の手はまだ必要だ

9月19日～22日、宮城県南三陸町において、ぐんま労福と連携した震災復興支援ボランティアを実施しました。津波による塩害を受けた農地の復旧作業のため、労働団体・事業団体をはじめ、議員懇から、あべ県議が参加し、41名で作業を行いました。

既に重機で農地の60～70cmほどの土砂がかき出された後の、細かなガレキをスコップやツルハシ、ピッケルなどを使いながら取り除いていく作業でした。



細かなガレキを少しずつ取り除く作業

参加者からは、「これまで都合がつかず参加することができなかったが、今回やっと参加できた。自分の目で被災地を見て、復旧作業をして手助けができた」、「昨年に続き、約1年ぶりに南三陸町を訪れたが、震災前のように町が自立できる状況ではなく、まだまだ支援の手は必要だ」などの感想があげられました。



嶺公園森林整備ボランティアを実施



森林整備作業に参加した仲間の皆さん

10月12日、産別・地協から43名が参加し前橋嶺公園で整備作業を行いました。



整備作業は、木々の間に茂る下草や篠を刈り、カマを用いてファイト！落ち葉や折れた枝を集めるなど、例年より暖かく感じる秋晴れの下、見違えるほどきれいな森となりました。

参加者からは、「見違えるほどきれいになり、次は散歩もいいかも」、「森の中が見渡せ、木々も元気になった感じがする」といった声も聞かれました。

この作業は、群馬県「企業参加の森づくり」として、ボランティアを行いたい団体と整備が必要な森や雑木林とを県が橋渡しするもので、複数の団体で分担して整備しており、連合群馬もその一角を担当し、今回で3回目の活動となります。

来年の春も計画しますので、奮っての参加をお待ちしています。

北方領土返還要求署名を提出

10月1日、群馬県庁において、今年1年間組合員の皆さまと共に取り組んだ、北方四島の返還を一日も早く実現するための署名（47,019名分）を、群馬県企画部国際戦略課へ提出しました。

連合は平和と友好を希求する労働組合の立場から、北方領土返還運動に、構成

組織・地方連合会と力を合わせて取り組んでいます。連合群馬も北方領土返還要求群馬県推進連絡協議会（県民会議）からの要請に基づき、署名運動に継続して取り組んでいる他、連合本部主催の「平和行動in根室」に参加しています。

吉田副会長（左）
向田国際戦略課長（右）



北方領土返還要求群馬県推進連絡協議会（県民会議）とは

独立行政法人 北方領土問題対策協議会（北対協）が直接の窓口となり、当時の総務庁（現在の内閣府）と北対協、各都道府県からの県民会議の設立要請に基づき各地で随時設立され、群馬県では、1979年（昭和54年）4月13日に設立されました。

連合群馬発足時から県民会議に加盟しており、現在の会員は27団体（地婦連・青年団・自衛隊父兄会・郷友会など）で、現在、県庁国際戦略課が窓口となっています。

東日本大震災復興支援カンパ金を寄付

各地協が、連合群馬ふれあいフェスティバル会場で自主的に取り組み集約した震災復興カンパ（601,013円）を、10月1日に日本赤十字社群馬県支部へ寄付しました。東日本大震災からの復旧活動をはじめ、近年、各地で猛威を奮っている自然災害からの復旧活動にも役立てていただきます。ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。



川田事務局長

吉田副会長

前橋・藤岡市長との 意見交換を実施

政策要求の早期実現をめざして！

連合群馬の政策要求の早期実現につなげるため、市町村長との連携強化を目的として、9月19日に前橋市長、10月4日に藤岡市長と意見交換を行いました。

この意見交換では、連合群馬および地域協議会の活動を紹介し、連合群馬が政策要求へ取り組む思いや、組合員のみならず広く県民の意見を行政に届けていることを理解してもらうため、初めて行ったものです。

今後も随時、他の市町村長との意見交換を実施します。

前橋市(9/19)

意見交換では、中核市としての前橋の特徴をどのように出していくのかとの問いに、「バランスの良い産業振興」、「非正規労働者の労働環境の底上げにつながる施策を展開する」といった考えが出されました。また、行政の勤労者支援施策のPRについて、連合の協力をいただきたいとの要望も出されました。

社会貢献や様々な活動、広く県民の声を聴き取り組む連合の県民に対する思いを感じる。

今後も、様々な意見をお寄せいただき、連携をはかっていきたい。



前橋：山本市長

藤岡市(10/4)

意見交換では、高速道路網が交差する藤岡市の利点をどのように活かすかとの問いに、「名古屋市における企業誘致の取り組みや、新潟港を起点としたアジアへの産業振興戦略の考え方、さらには工業団地と高速をつなぐ道路インフラ整備などを展開する」といった考えが示されました。



意見交換（藤岡）



藤岡：新井市長

財源の問題もあるが、連合の要求は受け入れられるものばかりであり、1つでも前進させられるよう執行部で検討していきたい。



意見交換（前橋）

労働基準監督署
との意見交換

地域の労働問題を共有

地域で起こっている労働問題を共有し、発生した労働問題の早期解決に向けて、8月26日～9月26日の期間で、県連合・地協四役と労働基準監督署（以下、労基署）との意見交換を行いました。

労基署からは署長や監督課長、監督官などが出席し、労基署の相談窓口で寄せられている労働相談内容や解決に向けた取り組みについて説明がありました。

連合群馬からは、なんでも労働相談の実績を報告し、地協から、労働者の立場から現場で実際に起きている労働問題を説明しました。労基署からは解決に向けたアドバイス等があり、今後の労働問題解決方法を学ぶことができました。

【意見交換開催結果】

開催日	訪問場所	参加人数	
		労基署	地協
8月26日（月）	沼田労基署	3	3
8月27日（火）	太田労基署	3	7
8月29日（木）	中之条労基署	2	4
8月30日（金）	高崎労基署	2	5
9月18日（水）	桐生労基署	2	5
9月25日（水）	前橋労基署	3	4
9月26日（木）	藤岡労基署	3	5

※7カ所の労基署で県内全域の労働問題を扱っています

<労働基準監督署へ寄せられている主な相談内容と特徴点>

- ・介護従事者からの相談が増加傾向にある。
- ・雇止めや解雇、労働時間や賃金が求人票と実際とで異なるといった相談が多い。
- ・パワハラ・セクハラについては、対応が難しく労働局の均等室やあつせんを紹介している。
- ・過労死に繋がるメンタル疾患や長時間労働が増えていく。
- ・法違反を承知した上で、中堅社員に対して、厳しい仕事を与えている事業主が多い。
- ・建設業や製造業では、安全管理の強化により、災害は減ってきている。



太田地協と太田労基署



吾妻地協と中之条労基署



前橋・渋川・伊勢崎地協と前橋労基署



藤岡地協と藤岡労基署

知って得する労働関係法を学習

9月21日、伊勢崎プリオパレスにて有期契約で働く仲間の集いを開催し、6産別より31名が参加しました。

通年で取り組んでいる非正規労働者支援の一環として、パートやアルバイト、契約社員など有期契約で働いている仲間に対し、労働関係法について学んでもらい、グループ討議を通じて組織を超えた交流をはかっていただきました。

労働関係法に関する学習会では、群馬労働局労働基準部の岡本課長を講師に迎え、時間外・深夜労働に対する割増賃金率や、今年4月に改正された労働契約法に関する内容などの説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



職場を超えて楽しく交流

グループ討議では、異なる職場で働く仲間と意見を交わし、「正社員を目指している」、「年休が取得しにくい」など、働く上での悩みについて共有しました。

後藤県議が質問に立つ 連合群馬の政策実現に向け連携



議会で質問に立つ後藤県議

9月議会の前半期議会において、後藤県議がリベラル群馬を代表し、質問に立ちました。

県民11,030人の回答を集約した連合群馬政策・制度要求と提言を踏まえた、行政施策への反映や意識調査の結果を活用するよう、連合群馬の政策実現に向けて連携した対応が行われました。

質問では、自殺対策の取り組み強化としての県の取り組みや、連合群馬が行っている「ライフサポート相談」事業を紹介し、相談窓口・機能の強化に向けた支援要請を行いました。

なお、群馬県議会は、今年度から9月議会と11月議会をつなげて、決算審議や議案審査に時間をかけ、知事の専決処分を減らし、議会のチェック機能を高めることができるようになりました。

玉村町議会議員選挙「石川眞男」当選

10月1日告示で施行された、玉村町議会議員選挙は、連合群馬が推薦する「石川眞男」氏が無投票当選となりました。これまでご支持・ご協力をいただきました、構成組織・地協の皆様にご感謝申し上げます。

マレーシア・シンガポール 成長著しい国

9月23日～28日、労働組合の国際連帯をはかるため、吉田副会長を団長とする連合関東ブロック第23次海外交流視察団が、マレーシア・シンガポールを訪問し、国際労働組合総連合・アジア太平洋地域組織（ITUC-AP）やシンガポール全国労働組合会議（NTUC）と意見交換を行いました。

NTUCとの意見交換の中で、「3K職場（きつい、汚い、危険の3条件のある職場。ゴミ処理、産業廃棄物処理などの現場業務）」では多くの外国人が働き、社会を支えている。外国人労働者の処遇によっては国全体が不安定になるため、政府や労働組合として対応しているとの話がありました。



団員と共に

青空のもと尾瀬で楽しく交流

9月24日～25日、尾瀬高原ホテルにおいて、高退連2013尾瀬交流会を加盟組織から54名が参加し、グラウンドゴルフ(41名)と尾瀬ハイキング(13名)に分かれ、台風の谷間となったさわやかな天候の中、組織を超えた交流と軽スポーツに汗を流しました。

グラウンドゴルフでは、起伏があり難しいコースを、今回初めてプレーするという初心者から、年間50回以上の試合に出場している経験豊富な方まで、幅広いレベルの方々と楽しむことができました。



ホールインワンも続出

ハイキングでは、鳩待峠から山ノ鼻まで散策し、秋晴れの中、尾瀬の自然を満喫、楽しい交流がはかれました。

お知らせ

第3回勤福フェスタ

日 時：11月23日（土）11：00～15：00

場 所：群馬県勤労福祉センター

＊フリマ・苗木配布・体力測定・地場野菜販売
地域団体の発表・親子ものづくり教室など

問合せ：群馬県勤労福祉センター

TEL 027-263-4111

ぐんまNPOフェスティバル

日 時：11月23日（土）10：30～16：00

場 所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ

＊車いすテニス・車いすバスケット体験！

問合せ：群馬NPO協議会 FAX 027-210-6217

メール gunma-npo-kyougikai@nifty.com

※上記の催し物は、連合群馬が後援しています